

三鷹市立大沢台小学校 令和5年度【算数】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITや習熟度別学習を行うことで、支援が必要な児童を丁寧に指導することができ、加法・減法の計算や時計の読み方など技能の定着を図ることができた。 ・自分の考えをノートに書き表したり、具体物を操作したりしたことを短焦点プロジェクターに映し出すことで、クラス全体で共有したり、説明し合ったりすることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した直後は覚えているが、時間が経つと忘れてしまう児童がいる。また、計算に時間がかかる児童もいる。さらに定着を図るために、学習用タブレット端末のアプリ「なんなんドリル」、「東京ベーシック・ドリル」、「eライブラリ」等を活用していく。 	<p><学習状況の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10までの数の構成や加法・減法については暗算、または具体物を使えば計算を正しく行うことができる。しかし、文章問題を読んで正しい順序で立式できないことがある。 ・絵や文章から、加法・減法の場面を判断することが難しい児童がいる。それゆえ、計算の仕方や考え方を説明することはさらに難しい。 ・生活場面の中で自主的に学習を生かそうとする意識は低い。 	<p><指導方法の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力や定着に差があるため学習進度に差が出て、つまづいている児童がいる。 ・文章問題の間われていることが理解できない児童が複数おり、自分の考えを自分の言葉で表現し、互いに聞き合って考えを深める時間の確保が必要である。 ・教科書の内容の学習が中心であり、生活場面で用いられる場面や発展的な学習まで取り組ませることは少ない。 <p><授業改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期はIT、2学期からは習熟度別学習によって個別に対応した指導を行い、全員に基礎的な内容を十分に理解させる。 ・東京ベーシック・ドリルを活用し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ◎式を具体的な場面に結び付けたり、学習用タブレット端末などのICT機器等を使って視覚的に見せる。ペアや4人組などで、自分の言葉で説明させるように学習計画を設定する。 ・習熟の状況により、既習事項を生かした発展学習を行わせる。日常場面で算数の学習を意識させる場面設定や声かけを行う。
第2学年	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九九は、自分たちで聞き合い、繰り返し練習することで自信を付けた。 ・短焦点プロジェクターを活用することで、考えを共有したり、多様な考え方を話し合ったりすることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習中は理解しているように思えるが、次の単元に入ると前の学習内容を忘れてしまったり、日常生活で活用したりすることがまだ難しくなっている。 	<p><学習状況の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2位数の加法及び減法の計算において、1位数の基本的な計算を基にしてできることを理解できてきたが、まだ十分ではない。 ・数の表し方のしくみや数量の関係や自分の考えを言葉、数、式などを用いて表現できる児童とそうでない児童との差が大きい。 ・学習した内容や考え方を、次の学習に生かそうとする児童が増えてきた。 	<p><指導方法の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の概念や計算の意味についての理解の定着を図る指導が十分ではなかった。 ・既習事項を基に考えたり、自分の考えを表現したりするためのヒントを提示する等の手立てが不十分だった。 ・学習内容を身近な生活場面に近づけて考えたり、他教科等で想起できるように関連付けたりする指導ができていなかった。 <p><授業改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレット端末等を活用し、数量や時計を視覚化したり具体物を操作したりして、数の概念や量感をもたせるようにする。 ・東京ベーシック・ドリル（電子版）やeライブラリを活用し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ◎大型テレビ等で児童の考えを提示することで多様な考え方や表現方法を学べるようにしたり、式の意味を読み取り、考察したりできるようにする。 ・日常生活で活用する場面を紹介、体験したりする場を設けたり、他教科の授業と関連できるように計画していく。
第3学年	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100マス計算の取組やノート指導をする中で、九九の計算が定着し、2位数×1位数の計算が身に付いてきた。 ・eライブラリや東京ベーシックドリルのソフトを活用することで、理解がすすんだ。 ・友達同士で意見交流することで主体的に問題解決に取り組む姿が見られた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力や計算力に個人差がある。 ・振り返りの時間を確保するのが難しく、自らの学びへの態度を振り返ることができなかった。 	<p><学習状況の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力や計算力に個人差があり、簡単な加法、減法、乗法の計算を暗算できる児童もいれば、手を使って繰り上がりや繰り下がり確かめている児童もいる。 ・繰り上がりや繰り下がりのある時間の計算の理解が難しい児童がいる。 ・みんなの前で、自分の考え方を発表する機会を増やす中で、発表しようとする児童が増えた。また、その内容を最後までしっかり聞こうとする児童がいる。 ・文章題に取り組む際、初めからあきらめて意欲が見られない、または文章題を捉えられない児童が見られる。 	<p><指導方法の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を身近な生活場面に繋げて考えたり、他教科等で想起できるように関連付けたりするなどの指導ができていなかった。 ・時刻と時間の学習やあまりのわり算の計算などの際に具体物を操作して答えを導き出したり、簡単な方法を見付け出したりするなど、実行錯誤しながら取り組む時間の確保が不十分であった。 <p><授業改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法、乗法の30マス計算を毎時間行い、繰り返し取り組むことで、計算力を高めていく。 ・既習事項の定着を図るため、振り返りの時間を確保したり、学習用タブレット端末を用いた個別学習の時間の確保したり、サポート隊の人員が今以上に増えるように声をかけた。 ・東京ベーシックドリル（電子版）やeライブラリを活用し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ◎課題に対し、児童が考えをまとめる時間を十分に確保する。また、考えをまとめるためのツールを提示し、児童が活用しながら表現できるようにしていく。 ・暗算が生かせるよさに気付けるように日常生活と照らし合わせながら、実際に使おうとする意欲を高める。
第4学年	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表し合う学習を積み重ねる中で、考えをもったり、よりよい方法に気付いたりする児童が増えてきた。 ・問題演習を積み重ねて学習内容の理解を確かなものにすることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わり算の定着が不十分な児童が見られる。 ・学習内容の理解がその時だけのものになっていて、既習事項として活用できるものになっていない面が見られる。 	<p><学習状況の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九が定着していない児童がいる。 ・2けたのわり算の計算問題では、適切な位に商を立てることに時間がかかったり、自力解決が難しかったりする児童が見られる。 ・分度器やコンパスを使って作図することに慣れていない児童が見られる。 ・数量や図形の関係など、着目する視点を与えたり、考えの道筋を助言したりすることで、問題を解決することができる児童が増えている。 ・苦手意識をもっていても粘り強く考える態度が身に付いてきており、経験を重ねる中で学んだことを生活や学習に生かすこともできる児童が増えてきている。 	<p><指導方法の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九や作図など既習事項の練習する時間を取り入れたが、十分ではなかった。 ・計算の仕方を説明するなど、自分の考えを発表し合ったり、再考したりする時間を十分に確保できなかった。 ・学習内容を身近な生活場面に近づけて考えたり、他教科等で想起できるように関連付けたりする指導が十分ではなかった。 <p><授業改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法、乗法の30マス計算を毎時間行い、繰り返し取り組むことで、計算力を高めていく。 ・東京ベーシック・ドリル（電子版）やeライブラリを活用し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・既習事項の定着を図るために、既習事項の確認をする時間を設けたり、個別で既習事項を復習する時間を確保したりする。 ◎考える時間を確保するとともに、ICT機器を活用し、自他の考えを共有し、再考する学習活動を重視する。 ・学習したことを具体的な場面で表したり、身近な生活の場面を考えたりさせるなど、身近な事象に結び付けられるようにする。
第5学年	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して自力解決しようとする児童や複数の方法で解決しようとする児童が増えた。 ・自分の考えを表現できるようになった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題意をとらえたり、数量関係をとらえたりすることが苦手の児童がいる。 ・学習内容の理解がその時だけのものになっていて、既習事項として活用できるものになっていない面が見られる。 	<p><学習状況の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にわり算に苦手意識をもつ児童がいて、小数のわり算の習熟、特にあまりの処理に不十分な面が見られる。 ・数量や図形の関係など、着目する視点を与えたり、考えの道筋を助言したりすることで、問題を解決することができる児童が増えている。 ・苦手意識をもっていても粘り強く考える態度が身に付いてきており、学んだことを生活や学習に生かすことも経験を重ねる中でできる児童が増えてきている。 	<p><指導方法の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着が不十分な児童への個別指導が十分ではなかった。 ・自分の考えをもったり、友達と発表し合う中で再考したりする時間を十分に確保できなかった。 ・学習内容を身近な生活場面に近づけて考えたり、他教科等で想起できるように関連付けたりする指導が十分ではなかった。 <p><授業改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法、乗法の30マス計算を毎時間行い、繰り返し取り組むことで、計算力を高めていく。 ・既習事項の定着を図るために、既習事項の確認をする時間を設けたり、個別で既習事項を指導する時間を確保したりする。 ・東京ベーシックドリル（電子版）やeライブラリを活用したり、復習プリントを作成したりするなど、問題量を多くこなし、基礎・基本の定着を図る。 ◎考える時間を確保するとともに、ICT機器を活用し、自他の考えを共有し、再考する学習活動を重視する。 ・学習したことが身近な生活や次学年のどんな学習内容につながるかを紹介したり、身近な生活に即した発展的な内容に取り組む時間を確保したりする。

第6学年

〈成果〉

・問題演習や復習を積み重ねて学習内容の理解を確かなものにする事ができた。
・友達の考えのよさを認め、よりよい考えを見付けようとする児童が増えた。

〈課題〉

・複数の領域の内容を総合的に活用にして解決する課題に対して、解決の見通しをもつことができない児童がいる。

〈学習状況の現状と課題〉

・小数のかけ算・わり算、分数のかけ算・わり算の計算や、分数と小数の混ざった計算の定着が不十分である。
・数量や図形の関係に着目して問題を解決できる児童が増えているが、複数の方法を見出した
り、解決の過程や結果を多角的にとらえたりすることが
できる児童はまだ少ない。
・苦手意識をもっているが、学んだことを生活や学習
に生かすことができる児童はまだ少ない。

〈指導方法の課題〉

・既習事項の定着が不十分な児童への個別指導が十分ではなかった。
・自分の考えをもったり、友達と発表し合う中で再考したりする時間を十分に確保できなかった。
・学習内容を身近な生活場面と繋げて考えたり、他教科等で想起できるように関連付けたりする指導が十分ではなかった。

〈授業改善策〉

・加法、減法、乗法の30マス計算を毎時間行い、繰り返し取り組むことで、計算力を高めていく。
・小数の計算、分数の四則計算による約分や通分、分数と小数の換算など、繰り返し練習し、計算力を高めていく。
・既習事項の定着を図るために、既習事項の確認をする時間を設けたり、個別で既習事項を指導する時間を確保したりする。
・東京ペーシックドリル（電子版）やeライブラリを活用し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
◎考える時間を確保するとともに、ICT機器を活用し、自他の考えを共有し、再考する学習活動を重視する。
・学習したことが身近な生活や今後のどんな学習内容につながるかを紹介したり、身近な生活に即した発展的な内容に取り組む時間を確保したりする。